

北小タイム（あやめっこタイム 「Simple」プログラム）

橿形中学校区小中一貫教育のキーワード かかわり・対話・学び合い

「Simple」プログラムとは、「かかわりの力」の要素である「自尊感情」「ソーシャルスキル」を育むための手だてです。毎週水曜日の朝活動の時間に行っています。

橿形中学校区では、このプログラムの実践により、児童生徒の望ましい人付き合いの技術やコツ（ソーシャルスキル）を獲得することにより、児童生徒の自尊感情や自己肯定感の向上と、学習時に「わからないことをわからない」といえる関係、本音で語れる関係、男女問わずに依存しあえる関係が生まれ、それが「学び合い」のさらなる充実につながると考え、取り組んでいます。

		
<p>話が弾む 5 年生</p>	<p>向き合ってにこにこしてる 3 年生</p>	<p>目を見て話す 3 年生</p>
	 <p>あやめっこ たいむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 好きな食べ物 好きな動物 よく食べるおやつ 中休みにしたいこと 好きな遊び <p>ニコニコ 笑顔(えがお)</p> <p>約束は 3 つ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 始める前には「お願いします」終わったら「ありがとうございました」 ② うなずいて聴く ③ 笑顔で聞く 	<p>お題は 5 つあり、自分で相手に質問する内容を選ぶことができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 好きな食べ物 2 好きな動物 3 よく食べるおやつ 4 中休みにしたいこと 5 好きな遊び
<p>説明を聞いている 1 年生</p>		

じゃんけんをしてお題を選び、質問したり答えたりしていきます。5年生では、笑顔で会話が進み、交流が深まっている様子でした。3年生では、にこにこしながら相手に質問をしていました。目を見てうなずきながら聴く姿も見られました。1年生は初めてのことなので緊張した様子でしたが、説明をよく聞き、やり方を理解していました。

この取り組みの成果として次のようなことが中学校から報告されています。

- 入学したての中学1年生の緊張がほぐれるのが早い。
- 1年生の生徒がうまくかかわれるようになっている。
- 出身小学校の壁が低い。
- クラスの垣根も低くなっている。

いわゆる中 1 ギャップの解消につながっていると考えられます。今後も児童の「かかわりの力」を育成するため、取り組んでいきます。